

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県越谷市 越谷市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド透未訓方	救 随 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
343,062	32,126	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
481	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	481
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
343	-	343

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
□	令和5年度全国平均	

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の業務・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	-
-	年度	-

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療の役割を担っている。
令和6年10月より紹介受診重点医療機関を取得した。医療連携・機能分化を図る中で、救急患者や紹介患者をスムーズに受け入れ、また後方の連携施設に逆紹介を行うことで、地域のハブとなる病院を目指す。特に東部医療圏において「救急医療」「がん医療」「小児・周産期医療」を担う役割が大きい。

II 分析編

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
【96.6】
経常収支比率は、経常収益が経常費用をどれだけカバーしているかを示す指標である。当院は、経常収益が経常費用を上回っており、経営の健全性を示している。
②医療収支比率
【86.6】
医療収支比率は、医療活動にかかる費用が医療収入をどれだけカバーしているかを示す指標である。当院は、医療収入が医療費用を上回っており、医療活動の効率性を示している。
③修正医療収支比率
【83.9】
修正医療収支比率は、医療活動にかかる費用が医療収入をどれだけカバーしているかを示す指標である。当院は、医療収入が医療費用を上回っており、医療活動の効率性を示している。
④病床利用率
【68.7】
病床利用率は、病床がどれだけ稼働しているかを示す指標である。当院は、病床利用率が68.7%であり、病床の稼働率を向上させる必要がある。
⑤入院患者1人1日当たり収益
【62,428】
入院患者1人1日当たり収益は、入院患者1人1日当たりどれだけ収益を上げてくれるかを示す指標である。当院は、入院患者1人1日当たり62,428円であり、収益を向上させる必要がある。
⑥外来患者1人1日当たり収益
【18,236】
外来患者1人1日当たり収益は、外来患者1人1日当たりどれだけ収益を上げてくれるかを示す指標である。当院は、外来患者1人1日当たり18,236円であり、収益を向上させる必要がある。
⑦職員給与と費対医療収益比率
【56.1】
職員給与と費対医療収益比率は、職員給与が医療収益をどれだけカバーしているかを示す指標である。当院は、職員給与が医療収益を56.1%カバーしており、コスト削減の余地がある。
⑧材料費対医療収益比率
【26.4】
材料費対医療収益比率は、材料費が医療収益をどれだけカバーしているかを示す指標である。当院は、材料費が医療収益を26.4%カバーしており、コスト削減の余地がある。

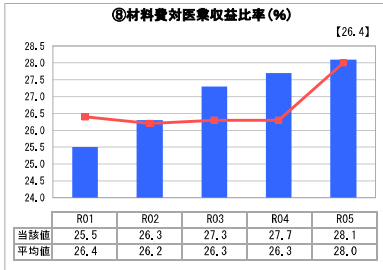
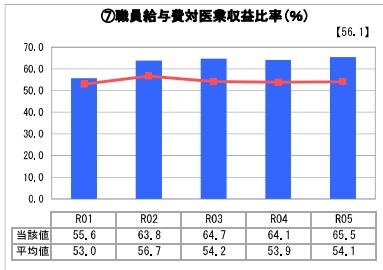
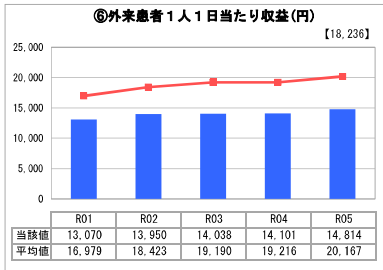
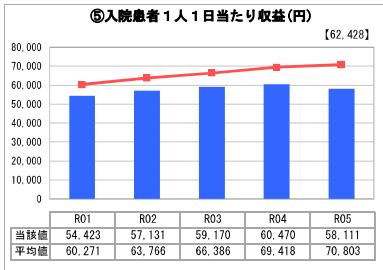
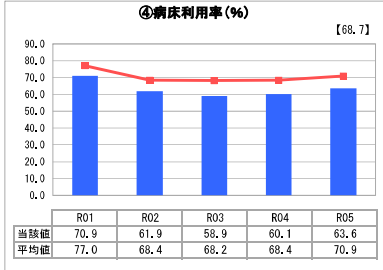
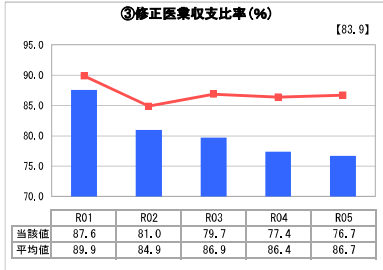
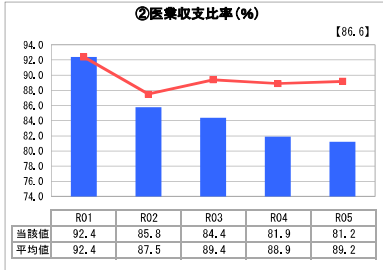
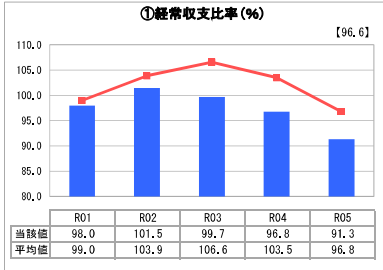
2. 老朽化の状況について

①②③有形固定資産、器械備品減価償却率、一床当たり有形固定資産
当院は昭和51年の開院以来、平成5～9年度にかけて、大規模な増築工事や改修工事を行い施設の維持を図ってきた。
また、医療器械についても計画的な保守点検や買い替え等を行ってきたところである。
しかしながら、経年劣化による老朽化は否めないため、将来的な施設の建替等について検討し調査を行っている。

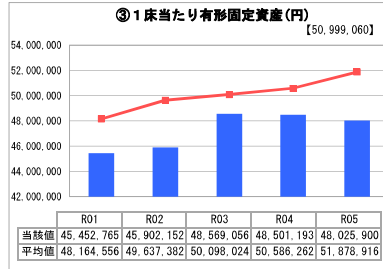
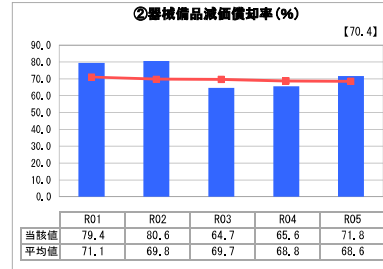
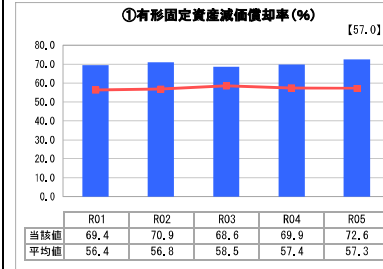
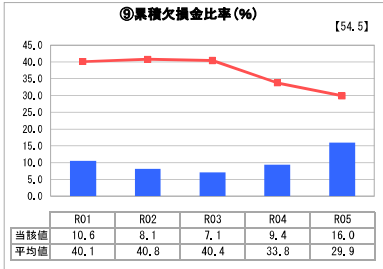
全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による病院事業収益の減収は顕著で当院に限らず病院事業全体の課題となっている。補助金の打ち切りも病院経営へ大きな影響を与えた。医療提供体制を維持していくため、病棟編成や人材配置を見直し、収益性の向上を目指す。また、長期目標としては、安定した経営基盤を築くため、類似病院との比較による経営分析を行うとともに、第7期中期経営計画を策定し「収益確保対策」「費用削減対策」「医療の質の向上・患者サービスの向上」「管理運営体制の強化」の4項目を柱とする各種施策に取り組んでいく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

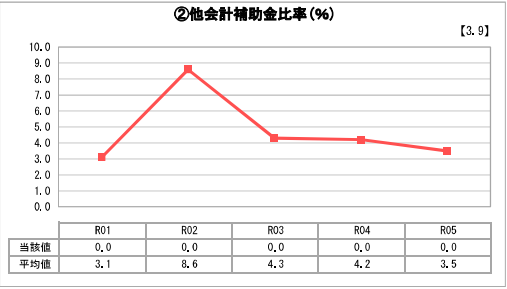
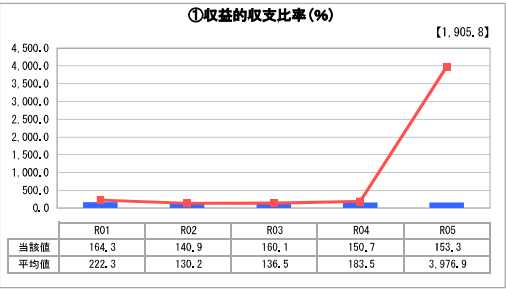
埼玉県越谷市 越谷駅東口

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場 附置義務駐車施設	立体式	11	

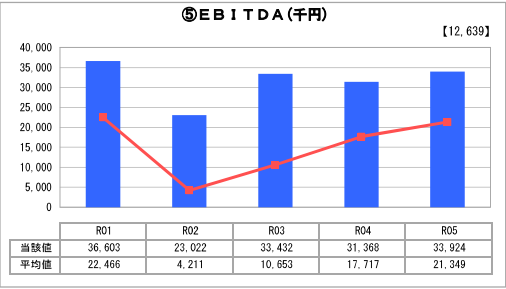
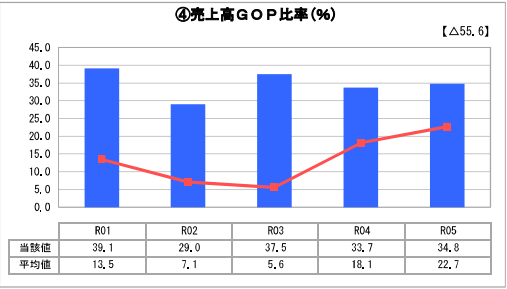
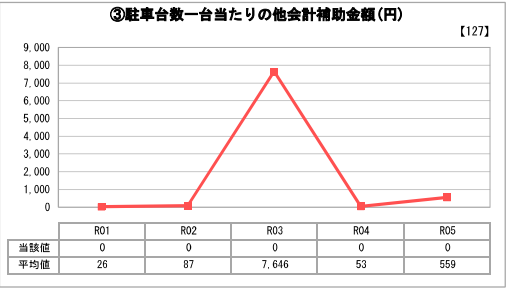
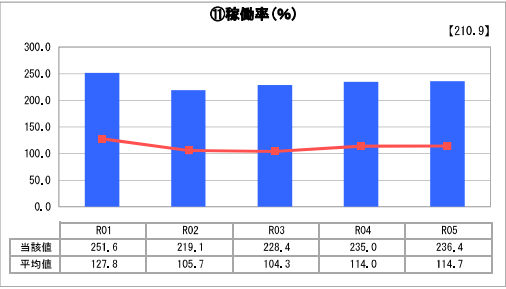
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	9,989
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
409	200	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況

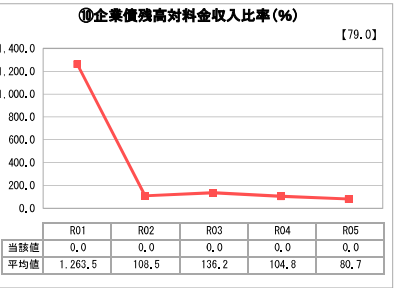


2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)
該当数値なし

⑦敷地の地価(千円)
580,980
⑧設備投資見込額(千円)
8,000

⑨累積欠損金比率(%)
該当数値なし



分析欄

1. 収益等の状況について
平成24年度に開場した当初は、特別会計にて経理していたが、想定より利用台数が少なかったことなどから料金収入が不足したため、一般会計から繰入を実施した。平成26年度以降は、利用料金制の導入と併せて料金体系を見直したことにより収支が改善したため、繰入は実施していない。
令和5年度については、料金収入や利用者数が新型コロナウイルス感染症の拡大前（令和元年度）と同水準まで回復しつつあり、①収益的収支比率、④売上高GOP比率及び、⑤EBITDAのいずれも前年と比較して、微増となった。
なお、②他会計補助金比率及び、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額について該当はない。

2. 資産等の状況について
地価については、公示価格などを参照して算出しており、設備投資見込額については、個別施設計画に位置付けられた設備について概算費用を算出したものである。
なお、⑩企業債残高対料金収入比率については、企業債を借り入れていないため該当はない。

3. 利用の状況について
当駐車場は、平成24年度に開場し、当初は1か月あたりの利用台数は約8,000台であった。
利用状況については新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は落ち込んだが、社会情勢が安定に向かっていることもあり、令和5年度の駐車場利用台数は、新型コロナウイルス感染症の拡大前（令和元年度）と同水準まで回復しつつある。
今後について、当駐車場の収容台数から勘案すると、例年の利用台数から大幅な増加は見込まれないが、引き続き安全で快適に利用できるよう施設の管理運営に努めていく。

全体総括
開設当初（平成24年6月開場）は指定管理者制度を活用し、特別会計にて運営していた。しかし、開場から2年間は、駐車場が開場したことに対する認知が不十分であったことなどにより、利用状況が当初の想定を下回ったため駐車場の料金収入が想定よりも不足したことから、不足分の補填を一般会計から繰り入れていた。
このような状況を改善するため、平成26年度に利用料金制の導入と併せて料金体系を見直し、指定管理者がもつ民間のノウハウを最大限に活用し、運営の自由度を高めたことから、利用台数の増加が図られることで収支が改善したことにより、現在まで収支は黒字で推移している。
今後も、引き続き指定管理者と連携しながら、当駐車場の適正な管理運営に努めていく。

経営比較分析表（令和5年度決算）

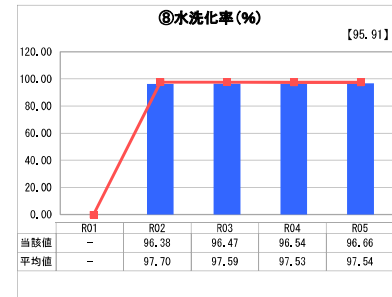
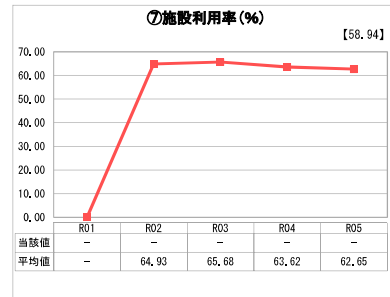
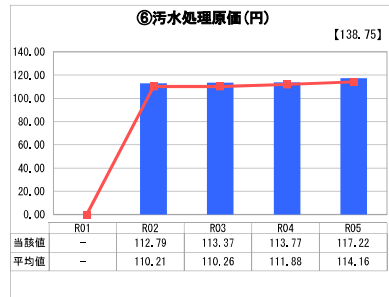
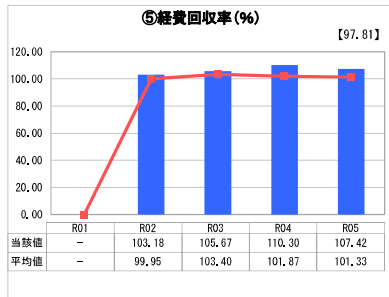
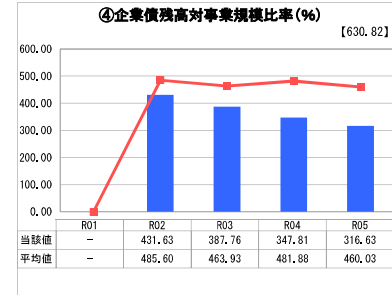
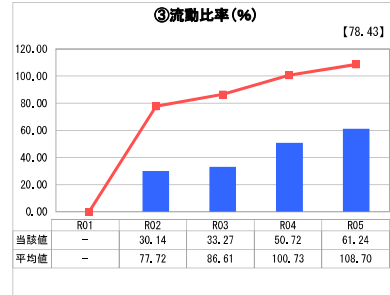
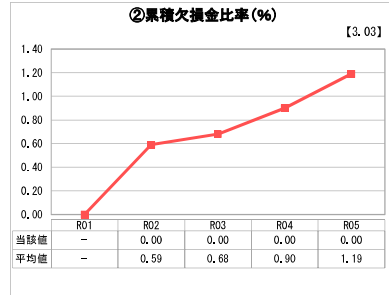
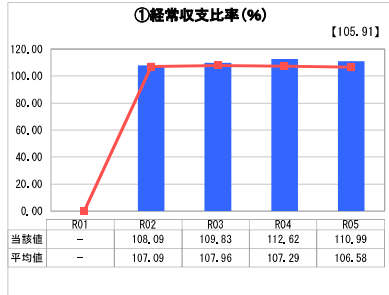
埼玉県 越谷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.51	84.34	88.29	2,574

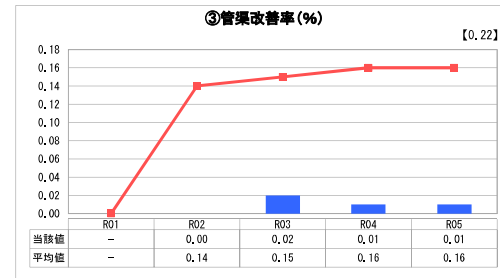
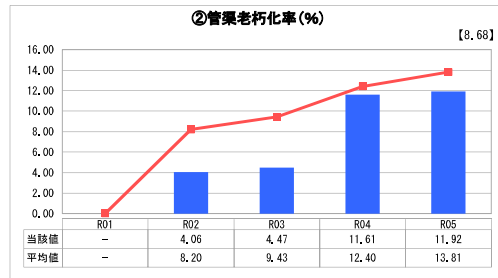
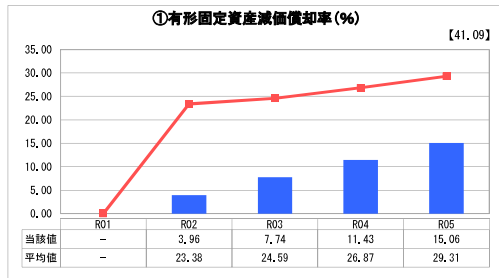
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
343,062	60.24	5,694.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
289,029	27.82	10,389.25

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を上回っており、類似団体平均値と同水準であることから、適正な経営状態にあります。今後は、収益の減少と費用の増加が見込まれるため、現在の水準が維持できるように努めてまいります。

③ 流動比率
100%を下回っているものの、企業債の償還が進み、流動比率は改善傾向にあります。しかしながら、類似団体平均値及び全国平均値を下回っていることから、改善に努めてまいります。

④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体の平均値を下回っており、企業債の償還額が新規借入額を上回って推移していることから、企業債残高が減少傾向にあるため、値について減少傾向にあります。今後も、計画的な更新投資を行い、適正な水準の維持に努めてまいります。

⑤ 経費回収率
100%を上回っており、類似団体平均値を上回っていることから、適正な経営状態にあります。今後は、施設の維持管理費や更新費用の増加が見込まれるため、現在の水準を維持できるよう取り組んでまいります。

⑥ 汚水処理原価
117.22円と、類似団体平均値と同水準であり、適正な状況にあります。しかしながら、昨今の物価上昇の影響や、今後の維持管理費等の増加が懸念されるため、経営の効率化などに努めてまいります。

⑧ 水洗化率
96.66%となっており、類似団体平均値と同水準となっています。今後も、未接続世帯への接続指導等の水洗化普及活動を実施し、水洗化率の向上に努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っていますが、値が増加傾向にあり、今後も増加が見込まれるため、計画的な更新に努めてまいります。

② 管渠老朽化率
類似団体の平均値を下回っていますが、耐用年数を超過した管渠の増加に伴い、値が増加傾向にあり、今後も同様の傾向が見込まれることから、計画的な更新に努めてまいります。

③ 管渠改善率
類似団体の平均値を下回っていますが、今後、耐用年数を超過した、更新等が必要な管渠の増加が見込まれるため、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な更新や改築に取り組んでまいります。

全体総括

主要な指標については、類似団体平均値及び全国平均値と比較して良好であり、概ね健全な経営状況にあると考えられますが、短期的な支払能力を確保するため、流動比率の改善が必要となります。また、昨今の物価上昇等に伴う費用の増加や、施設の更新及び災害対策の経費への対応として、下水道使用料を適正な水準に設定し、収入を確保する必要があります。

なお、下水道使用料収入については、人口減少や節水型の排水設備の普及等に伴い、その確保が難しくなることを見込んでおり、今後、経営環境がさらに厳しくなるものと想定しています。

このため、経営戦略等の各計画に基づき、計画的な事業運営に努めるとともに、適正なタイミングで計画を見直すことにより、情勢に合致した経営の実現に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。